

2馬力の限界に挑んだスーパーボート

インフレーターボートをいちいち畳んで持ち運ぶことの多い日本では、より軽いモデルが求められていました。

また12年前に始まった検査・免許不要艇の制度により国内では2馬力エンジンで走るミニボートへの需要が高まりました。スモールトランサムはこうしたニーズや制度に応えるコロンブスの卵。日本のフィールドにマッチした新しい定番スタイルです。

MALL スモールトランサム TRANSOM

2馬力の
ポーティングシーン
を変える

スモールトランサムへのこだわり



近年ポピュラーになった2馬力艇。一般的には性能に限りがあり、滑走が難しく、船首を上げて船尾を沈め、角度をつけて走航します。すると大きな走航抵抗が発生し、速度も上がらず、燃費が驚くほど悪くなります。また、

風上への走航は、風にあおられ大変危険です。2馬力艇の最大の性能を引き出す要素は、軽く造ること、走航抵抗を小さくすること、風圧抵抗を小さくすること。ジョイクラフトはこの壁に挑み、数々の画期的な

デザインと船型を開発しました。それが、重いトランサムボードを小さくしたスモールトランサムシリーズです。ボートクロスはそれほど重くはありません。一番重いのは、合板で作られたトランサムボードなのです。トランサム幅

を小さくすることで大幅な軽量化を実現し、さらに強度も増しました。トランサム幅が小さくなると、必然的に船尾のチューブが太くなり、ボートの剛性が増すと同時に、船尾に大きな浮力が生まれます。大きな浮力は船尾を持ち上げ、船首を押し下げ、2馬力でもフラットな姿勢の走航を実現させます。そして船尾の走航抵抗を激減させ、高速走航と燃費の劇的な向上が期待できます。また、船首が下がって風圧抵抗が減少するので、あおられる心配が少なく、安心した操船ができます。

つまり、2馬力艇の限界に挑み、最大の性能を発揮させたのが、このスモールトランサムシリーズなのです。

レッド キャップ

RED CAP

スモールトランサム第一号モデル 免許不要艇

ジョイクラフトが2009年に2馬力搭載モデルの決定版としてリリースしたのがこのRED CAP。軽くて速い、記念すべきスモールトランサムシリーズの第一号です。

RED CAP 295
Bottom



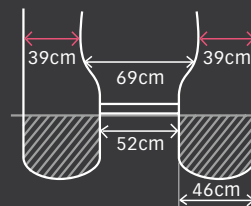
フロア一体型のエアキールに加えて左右のダイナキールが効いて、横流れの少ない安定した走航を実現します。



RED CAP 295

CHECK!

スターンの剛性と浮力をアップ
太いスターンチューブ



スターンの直径が太くなるRED CAPのユニークなチューブデザイン。通常のチューブに比べ、手の込んだ製造工程になりますが、機能を優先。ジョイクラフトならではの仕様です。

